

改善内容が具体的で分かりやすい

新潟リハビリテーション病院は、新潟市北区に位置する「リハビリ」「整形」「スポーツリハビリ」の分野で質の高い診療提供を目指す総合的なリハビリテーション病院です。病床数は168床で、一般108床、療養病床60床で回復期リハビリテーション病棟1、地域包括ケア入院医療管理料1を算定している病床構成になります。

理学療法士・作業療法士・言語聴覚士合計70名近い常勤スタッフと広い訓練室や病棟でのリハビリも組み合わせ、患者さんの状況に応じた対応をしている。同区内にある新潟医療福祉大学と連携のもと、充実したリハビリ内容を提供し、365日リハビリテーションを実施することで患者さんの早期社会復帰を目指しています。先進医療機器を用いた診療も行い、他にメディカルフィットネスと多目的ホールを併設し、一歩進んだリハビリテーション（トレーニング等）を行うことで、患者さんの様々な要望に応じています。

JHastisの臨時レポートについて伊東医事課長は、「あとどれだけ後発医薬品を使用すれば後発医薬品使用体制加算を算定できるのかなど、アドバイスが非常に具体的で分かりやすい。手術における薬剤費や材料費の変動率など、これまで分析してこなかった項目の分析も加えられている。以前から『データの可視化』をしたいと考えていたところ、今回のJHastisを活用することで、当院における診療報酬の算定状況だけでなく、『どこがウィークポイントなのか』も明確になった」と評価します。



左から阿部事務長、伊東医事課長

さらに、「現在、法人本部と今後の病床戦略などをより具体的に話し合っており、その際の重要資料として活用している」（伊東課長）とし、今後は「院内における経営管理会議資料」「予算・事業計画立案の際のエビデンス」としても活用する方針。阿部事務長と伊東課長は、JHastisの今後の展開について「ケアミックス病院全体の中でのベンチマーク分析」「病床機能報告制度などのトピック事項」「職員1人当たりの生産性」などのデータ分析に特に期待を寄せています。

新潟リハビリテーション病院への詳細な取材記事は、グローバルヘルスコンサルティング・ジャパンが運営する医療ニュースサイト「メディ・ウォッチ」に掲載されていますので、詳細についてはそちらをご確認ください（関連記事『新潟リハビリテーション病院、戦略的な病院運営のために日本病院会の「JHastis」を活用』）。